

(事業所職員向け)児童発達支援自己評価結果

討議年月日:令和 6年 3月 19日

公表:令和 6年 3月20日

事業所名 グローバル・アカデミー

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2	職員の配置数は適切であるか	6			配置数は適切であるが、児童が移動に応じて職員も移動する必要がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		2	バリアフリーは無いが、玄関の段差がないように1段上げたりしている。 今年1月末に運動室のガラスを強化ガラスに変更していただき、飛散防止フィルムを貼布していただいた。 玄関に段差があるため身体的不自由の利用者の受け入れは難しいと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年の評価表をもとに、ご指摘いただいた内容はすぐに改善するよう心がけている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		3	公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			今年は園内研修を数回実践できた。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1	モニタリングは全スタッフで取り組んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			療育担当者を決めてプレゼン形式で実施している。

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			保育所等訪問支援を活用している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			午前中全員でほぼ毎日ミーティング実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			申し送り事項はグループラインで共有している。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			担当制で毎日実施、記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			6か月前に必要なおさんは検討している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管など参加
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			保健師さん、病院、支援員さんとは連携をとっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		1	現在、対象児利用なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		1	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			就学先の学校へ情報提供書を配布している。送迎時に情報提供を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			登校支援等で学校や学童の先生方との連携あり
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			近隣事業所の方々と連携実施中
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4		2	子ども部会への参加が今年が出来ていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			その日あった事を動画配信や電話の対応にて配信。送迎時に保護者の方と話している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		1	お子さまの関わり方について助言させていただいている。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		3年ぶりに(コロナ禍の為)年長児対象の保護者会を実施予定
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		スタッフ全員に周知し、上司に報告後、改善の有無を判断し回答している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		療育動画を年間約100本近く配信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		契約時、支援計画等にも貼布、押印いただいている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	今期は実施できていない為来年度検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		毎月実施している。 毎月色々な(地震、火事等)発生を想定した、訓練や動画にて子ども達に分かりやすく実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6		契約時に必須で保護者に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギー対応のおやつ等を準備し与えている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		